

あ	<p>【あ】 天・新しい 日本人は自分から見て遠く上にある場所を「天（あま）」と呼びました。「あちら」「あそこ」「あの世」など自分から見て遠いところを「あ」と表現します。天国、極楽、高天原など良い場所が上にあるのは世界共通です。その「天」からよいものが降りてくると考えました。「天」から新しいものが始まります。</p> <p>□愛（あい胸に・あいに満ちた・あいする） □歩む（あゆむ道の先・あゆんでゆけば） □朝・朝日（あさひが昇り） □新しい（あたらしい時代の・あたらしい扉開き） □開ける（時代のまくあけ・扉あけはなち） □あいきょう □あいことば</p> <p>□あおいとり □あおぎみる □あっぱれ □あお写真 □あははって</p>
い	<p>【い】 命・生きがい 「命」「息」を意味し、生きるために必要な生命力を表す。古来の日本人は命が胃のあたりにあると考えそのあたりを「い」と呼んだことが「命」の語源と言われています。</p> <p>□命（いのちの光・いのち輝いて・尊いのち） □色鮮やかな（いろ鮮やかな未来・いろ鮮やかな翼ひろげ） □癒し（いやしを与え・いやしてくれる） □一歩（踏み出すいっぽ・大きないっぽ・勇氣あるいっぽが） □大地（だいちを蹴って） □抱いた（いだいた夢・志胸にいだき）</p> <p>□憩い（あなたの心はいこいの場となり） □一途（いちずな想い） □愛しい（いとしき命の輝き） □いきおい □いえ □いかなる試練も □いだいなる □いちり塚（一里塚）□いつも □いつの日か □いりよく □いきざま □いきてきた □いつくしむ</p>
う	<p>【う】 生む（鶉） 受け入れ、熟成し、生み出すという三段階の流れを教えているのが「う」のことだます。古代の日本人は「鶉」を見てそのことに気づきました。</p> <p>□内に（うちに秘めた熱き想い・志うちに秘めた） □内なる（うちなる神・うちなる真のこころ） □運命（うんめい切り拓き・うんめい的な出逢い） □映る（目にうつる・瞳に素晴らしき未来をうつしに） □海（うみのような広き心） □敬う（うやまい）</p> <p>□宇宙（広いうちゅう） □生み出す（うみだす作品は） □うかんだ □うかぶ □うけとめる □希望をうしなわず □うやまう □うきうき □うららか</p>
え	<p>【え】 枝 「枝」は枝分かれしながら広がり花、実をつけることから発展、成長、繁殖をあらわします。肯定する。同意、肯定の言葉が「ええ」現在の『よい（良い）』は古来は「ええ」と呼ばれていました。関西弁の「ええで」は今に残る古来の日本語の「良い」の意味です。肯定することで発展、成長が生まれます。</p> <p>□笑顔（えがおは癒し与え・えがおの花が咲く） □微笑み（女神はほほえみ） □選ぶ（自分が信じえらんだ道） □縁（ごえん繋がり） □永遠（えいえんに繋がってゆく） □栄光（えいこうへの架け橋・えいこうに続いてゆく）</p> <p>□叡知（えいちが助け） □英雄（えいゆうとなり） □描く（えがく未来へと） □えもいわぬ □えて挑む道のさき</p>
お	<p>【お】 尾（終わる） 「形にする」「現実化する」働きを持ちます。ものが豊かになるために必要なことだま。日本の犬の特徴は巻尾で、尻尾が丸く巻いています。終わるときは丸く終わることを教えています。</p> <p>□想い（優しきおもい） □思いやり（おもいやりに溢れ） □大きな（おおきな志抱き・おおきな空へと羽ばたいて） □王者（おうじゃ目指し） □贈る（おくる愛の言葉） □音楽（奏でるおんがくは）</p> <p>□おだやかな（おだやかな眼差し） □おいかぜ □おいこみ □おくする事無く □おもいきり □おもい描いた未来 □おもいのたけ</p>

か

【か】 上
 「香」「風」「神」など、見えないけれども力を持っていて、陰から影響を与えるものを表す。
 奥さんのことを「かみさん」と呼んだり、相撲部屋の「おかみさん」、料亭の「女将」などと表現したりする。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 叶う（夢 か ない・夢が か なうその日へと） | <input type="checkbox"/> 開花（夢が か いか） |
| <input type="checkbox"/> 輝く（ か がやく命・道は か がやき・光が か がやき導いて） | <input type="checkbox"/> 香る（やさしく か おる） |
| <input type="checkbox"/> 奏で（命のメロディ か なで） | <input type="checkbox"/> 架け橋（栄光への か けはしを） |
| <input type="checkbox"/> かぎり（あなたがいる か ぎり・夢がある か ぎり） | <input type="checkbox"/> 快晴（順風吹く か いせい空を） |
| <input type="checkbox"/> 鍵（心の か ぎ・未来の扉の か ぎをあけ） | <input type="checkbox"/> か いきよ <input type="checkbox"/> か けがえない命 <input type="checkbox"/> か そくする |
| <input type="checkbox"/> 感謝（ か んしゃ満ちる・ か んしゃ広がってゆく） | <input type="checkbox"/> か ちとる <input type="checkbox"/> か なめ <input type="checkbox"/> か こ <input type="checkbox"/> か げひなたなく |

き

【き】 木
 「き」は「木」を表します。この場合の「木」は「ヒノキ」で、「ヒノキ」は神社仏閣など大事なものを作るときに使われます。
 ヒノキの特徴は根の長さの分だけ上に生育する。たとえば地下5mのところに地下水があると、そこで根を伸ばすのを止めてしまうので、高さも5mまでにしかならない。同様に「き」のことだまを持つ人は、厳しい環境に身を置いて自己を成長させることが大切。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 希望（ き ぼうを胸に） | <input type="checkbox"/> 築く（ き ずいた〇〇） |
| <input type="checkbox"/> キラキラ（ き ラキラ輝く命・ き ラキラの笑顔） | <input type="checkbox"/> 絆（強い き ずな） |
| <input type="checkbox"/> きっと（ き っと叶うから） | <input type="checkbox"/> 清らかな（ き よらかな想いは） |
| <input type="checkbox"/> 輝き（ か がや き ながら・幸運の星は か がや き ） | <input type="checkbox"/> き ゆうしゆう <input type="checkbox"/> き つく <input type="checkbox"/> き づく <input type="checkbox"/> き ちよう <input type="checkbox"/> き ゆうせいし |
| <input type="checkbox"/> 切り拓く（道を き りひらき・凜とした志で き りひらく未来） | <input type="checkbox"/> ゆ |
| <input type="checkbox"/> 貴公子（ き こうしとなり） | <input type="checkbox"/> き わめる <input type="checkbox"/> き りよく <input type="checkbox"/> き りふた |

く

【く】 蔵
 過去、つまり先祖からの宝物が保管してあるのが「蔵」。
 自分の中（蔵）にある両親や先祖から受け継いだ自らの長所や恵み（宝物）を意識することで、ことだまが活性化します。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 草花（ く さばなの可憐さ） | <input type="checkbox"/> く らいつく |
| <input type="checkbox"/> 雲（ く もの上にはいつでも太陽） | <input type="checkbox"/> 気を く ばり |
| <input type="checkbox"/> くじけない（ く じけずしなやかに） | <input type="checkbox"/> く うき |
| <input type="checkbox"/> 空前絶後（ く うぜんぜつごの夏が来る） | <input type="checkbox"/> く らやみ照らす |
| <input type="checkbox"/> くつろぎ（ く つろげる場所） | <input type="checkbox"/> く やし涙ふき前向きに |
| <input type="checkbox"/> く いしばり <input type="checkbox"/> く ちぶえ <input type="checkbox"/> く りかえし | <input type="checkbox"/> く びったけ |

け

【け】 饌（神様に捧げる食事のこと）
 「饌（け）」は神様に捧げる食事のこと。神前に供える食べものを「御饌（みけ）」人の場合の食事は「餉（け）」、朝ごはんを「朝餉（あさげ）」、夕ごはんを「夕餉（ゆうげ）」という。それ以外に、「け」には「日常」「毎日」といった意味もある。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 景色（美しき け しき瞳に映しに） | <input type="checkbox"/> 健康（ け んこうを見守る） |
| <input type="checkbox"/> 健気（ け なげに咲く花のように） | <input type="checkbox"/> け いあい |
| <input type="checkbox"/> 気高き（ け だかく誇り高き） | <input type="checkbox"/> け いいはらう |
| <input type="checkbox"/> 化身（〇〇の け しんのような） | <input type="checkbox"/> け いかいに（軽快） |
| <input type="checkbox"/> 負けない（誰にもま け ない練習してきたんだから） | |
| <input type="checkbox"/> あゆんでゆけば（信じた道あゆんでゆ け ば） | |

こ

【こ】 固
 「形にする」「現実化する」働きを持つ。ものが豊かになるために必要なことだま。
 特に頭に「こ」がつく名前は、親、先祖の願いを実現し、大きくしていくという働きを持つ。また、その人が所属する組織等も希望が現実化していく。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 幸福（ こ うふくに満ち溢れた・ こ うふくの種は育ち） | <input type="checkbox"/> ころこ（優しき こ ころ・ こ ころ穏やかに） |
| <input type="checkbox"/> 幸運（ こ ううんの扉ひらき・ こ ううんの星は護り輝いている） | <input type="checkbox"/> 超える（ こ えてゆく先に笑顔の花は咲く） |
| <input type="checkbox"/> 向こう（扉のむ こ うへと） | <input type="checkbox"/> 志（凜とした こ ころざし胸に） |
| <input type="checkbox"/> にこやかな（に こ やかに健やかに） | <input type="checkbox"/> こ うじん意識 <input type="checkbox"/> こ うこう（孝行） <input type="checkbox"/> こ うどう <input type="checkbox"/> こ うけん |
| <input type="checkbox"/> 広大（ こ うだいな未来へと） | <input type="checkbox"/> こ うみょう（光明） <input type="checkbox"/> こ このは（言の葉） <input type="checkbox"/> こ よなく |
| <input type="checkbox"/> 光風（草原をふきぬける こ うふうのように） | <input type="checkbox"/> こ ころおどる <input type="checkbox"/> こ このうえない <input type="checkbox"/> こ ころうたれる |

さ

【さ】 幸
「幸」「颯爽」「さっさ」を意味し、素早く動くことがキーワード。「幸」を与える山の上の「サの神」は、春になると里に降りてきて「桜」を咲かせる。「桜」は「さっさ」と散ってまわりに「幸」を振りまくことから、「さ」のことだまの働きを象徴している。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 咲く（笑顔の花 さ く・しあわせの花を さ かせに） | <input type="checkbox"/> 先（あゆむ道の さ きに） |
| <input type="checkbox"/> 爽やか（ さわ やかな笑顔・順風 さわ やかにそよぎ） | <input type="checkbox"/> 天の さい はい <input type="checkbox"/> さい りょう（最良） <input type="checkbox"/> さえ わたる <input type="checkbox"/> さい あい |
| <input type="checkbox"/> 指し示し（道を さ ししめし） | <input type="checkbox"/> さい わい（幸い） <input type="checkbox"/> さ ずかる |
| <input type="checkbox"/> さえずり（鳥の さえ ずりで目覚める朝のように） | <input type="checkbox"/> さん ぜんと輝く |
| <input type="checkbox"/> 最高（ さい こうの未来を創りに） | <input type="checkbox"/> さい さきよく |
| <input type="checkbox"/> 才能（あなたの中の さい のうが与えていくんだ） | <input type="checkbox"/> さえ わたる |

し

【し】 静
ザワザワとしてうるさいときに「しーっ」と言うように「静める」、あるいは、問題を解決して事態を「鎮める」働きを持つ。子どもに「し」がつく名前をつけるときは、その家庭、家系が問題解決をする時期に来たしるしです。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 使命（ し めいを胸に・尊き し めいを） | <input type="checkbox"/> しずく（ひと し ずくの優しさが） |
| <input type="checkbox"/> 示す（道さし し めし） | <input type="checkbox"/> 疾風（ し っぷうのごとく） |
| <input type="checkbox"/> 幸せ（ し あわせの種（花）・足元の し あわせ・ し あわせ満ちる） | <input type="checkbox"/> 進化（ し んかした自分） |
| <input type="checkbox"/> 信じる（互いを し んじ・自分の し んじた道） | <input type="checkbox"/> し とやか <input type="checkbox"/> し のもの狂いで <input type="checkbox"/> し ゅうかん（習慣） |
| <input type="checkbox"/> 鎮める（ し ずめていく） | <input type="checkbox"/> し ゆくす（祝す） <input type="checkbox"/> し ゆご（守護） <input type="checkbox"/> し ゆくめい |
| <input type="checkbox"/> 静か（ し ずかなる闘志で） | <input type="checkbox"/> し ゆんかん <input type="checkbox"/> し ょうしゃ（勝者） <input type="checkbox"/> し れん |

す

【す】 主
「主人公」「主賓」「主食」など、物事を中心を意味する「す（しゅ）」。
天皇のことを「スメラミコト」と表現したり、日本の神様を「ス神」と呼ぶことから、物事を中心を表しています。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 素直（ す なおな気持ちを・正直 す なおに想いのままに） | <input type="checkbox"/> 姿（あなたの後ろ す がたを） |
| <input type="checkbox"/> 好き（君のこと す きだよ） | <input type="checkbox"/> すがお（ す がおのままの） |
| <input type="checkbox"/> 澄み渡る（ す みわたる空） | <input type="checkbox"/> す べて |
| <input type="checkbox"/> すーっと（ す ーっと流れていくときは） | <input type="checkbox"/> す えひろがり |
| <input type="checkbox"/> ステージ（次の す てーじへと） | <input type="checkbox"/> す えながく |
| <input type="checkbox"/> すすむ（胸張って す すんでいけば） | |

せ

【せ】 勢
「勢」「瀬」を意味し、川の上流から下流に船に乗って流れていくように、流れに乗ると少しの努力で大きな結果を生み出すことができる。「せく」と言うように、素早く動くことが幸運をもたらす。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 世界（あらたな せ かいへと・ せ かいへの扉） | <input type="checkbox"/> せ いする |
| <input type="checkbox"/> 聖なる（ せ いなる地に舞い降り） | <input type="checkbox"/> せ っせん |
| <input type="checkbox"/> 背中（ せ なかの美しき翼あげ） | <input type="checkbox"/> せ つな |
| <input type="checkbox"/> 誠心誠意（ せ いしん誠意の行動が） | <input type="checkbox"/> せ んこう |
| <input type="checkbox"/> 正々堂々（ せ いせい堂々胸張って） | |
| <input type="checkbox"/> 清楚（ せ いそな佇まいは） | |

そ

【そ】 祖
「祖」「礎」を意味し、そこから大きく発展、展開していく可能性を表す。また、土台となり、安定させる働きを持つ。「そーっ」「そろそろ」というように、働きはゆったり、のんびりしている。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 空（ そ らへ羽ばたき・ そ らの太陽めがけ） | <input type="checkbox"/> そ うへき（双璧をなす） |
| <input type="checkbox"/> そよ風（ そ よ風のように癒してくれる） | <input type="checkbox"/> そ うれい（牡蠣） |
| <input type="checkbox"/> 育つ（芽生え そ だったステキな想いが） | <input type="checkbox"/> そ める |
| <input type="checkbox"/> 寄り添う（より そ いながら支えあい） | <input type="checkbox"/> そ んざい |
| <input type="checkbox"/> そ うだい | <input type="checkbox"/> そ こはかたなく |
| <input type="checkbox"/> そ うごん | |

た

【た】 田

生きる糧のコメを作る「田」を意味する。コメを収穫するためには多くの手間をかける。自力（努力）することの大事さを教える。コメの収穫は天候などに左右されるので努力以外の他力（おかげさま）の気持ちの大切さも教える。

高い（志**た**かく・**た**かい所へと）

太陽（心の**たい**ようとなり・空に輝く**たい**ようのように）

魂（**たま**しいの輝き・うつくしき**たま**しい）

大切（**たい**せつな想い・**たい**せつなもの**たい**せつに）

たくさんの（**たく**さんの幸せ・**たく**さんの笑顔）

卓越（**たく**えつした能力で）

助ける（**た**すける）

正しき（**た**だしき道）

縦の糸（**た**ての糸と横の糸が織りなす愛）

旅立つ（新たな歴史づくりに**た**びだとう）

たえず **た**おやか **た**ちば **た**ぼう（多望）

たびだち **た**んねん **た**から **た**ゆめぬ努力

ち

【ち】 地

「大地」は豊かな恵を与え、赤い「血」で人は生き、白い「乳」を飲んで赤ちゃんが大きくなることから、大いなる恵みである生命の源を表す。生きる力のことです。

力（**ち**からいっぱい・聖なるちから）

大地（だい**ち**蹴って飛び立とう）

小さな（**ち**いさな一歩でも）

地球（広い**ち**きゅうで出逢った奇跡）

近道（一番の**ち**かみちは凸凹してるんだ）

中心（〇〇が**ち**ゅうしんとなって）

ちかい（誓い）

ちゅうじつ

ちょうじゅう（長重）

ちよっかん

つ

【つ】 津

「集う」「集まる」という意味を持つ。「人やものが集まってくる」という意味の「津」や、「人やものが集まってできたところ」という意味の「都」が由来。集まった物をつなげて、伝える働き。

強い（**つ**よい想い・**つ**よき絆）

繋ぐ（ご縁は**つ**ながり・**つ**ながる命）

掴む（チャンス**つか**み・**つか**んだ物）

続く（しあわせへと**つ**づく・**つ**づく道の先に）

集う（**つ**どいし者の・**つ**どいし賢者）

翼（美しき**つ**ばさをひろげ・**つ**ばさ休めて）

つつしむ（慎む）

つみかさね

つらぬく

て

【て】 手

土を耕す「手」を意味し、「技術」という意味を持つ。「て」のことだまを持つ人は、何かのスペシャリストとして活躍する人が多い。

照らす（光が**て**らす先に・みんなを**て**らす光となって）

手（**て**をさしのばし・**て**のぬくもり）

丁寧（**て**いねいな仕事が繋いでいく）

天（**て**んから舞い降り）

天使（**て**んしのような）

天真爛漫（**て**んしん爛漫な笑顔は）

天命使命（**て**んめい使命を生きて）

てばなしで喜ぶ

と

【と】 土、十

「土地」「十（とお）」を意味する。「土地」は力がとどまる場所、「十」は最終結論を出したり、整える働き。生まれた土地との結びつきが強く、生まれた土地の力をもらって働きがもっとも強い。

時（**と**きは味方だよ・**と**きの流れ・旅立ちの**と**き）

飛ぶ（大地蹴って**と**びたとう）

尊き（**と**うとき命・**と**うとき存在）

愛しい（いとしき人・いとしきあなた）

扉（新たな時代の**と**びら・未来の**と**びらを拓くとき）

遠き（**と**おき道もその志あれば）

ときはなつ

とこしえ

ととのう

ともす

とこば

な	<p>【な】 成、名 「成る」「七」を意味する。「七」は「完成」を意味することから、目標を設定し達成し、物事を完成させる働きを持つ。名前の中に自分が成すべき内容が記されています。</p> <p>□和やか（なごやかな未来・なごやかに健やかに） □仲間（なかまと歩む道） □成せる（なせばなせるから） □流れ（おおきなながれに乗ってゆこう） □眺め（美しきながめ） □流れ星（ながれぼしに願う）</p> <p>□七（なないろの美しき虹の向こうの） □なんでも □なんだって □なにくそと □なみたいていではない □なみに乗り □なんかん突破し □なかもつまじく</p>
に	<p>【に】 煮、似る 「煮る」「似る」という意味を持つ。シチューや煮物がいろいろな材料を煮ることで素材の良さを引き出して個性的な料理にする。煮ること（時間をかけること、経験を活かすこと）似る（真似ること）によって一人一人の個性が生まれてくることを教えています。</p> <p>□にこやか（にこやかな笑顔は） □日本（にほんの未来） □虹（にじの向こうへ） □国（このくにを護り繋いでくれた） □逃げない（にげださず、投げ出さず） □柔和（にゅうわな眼差しは）</p> <p>□人気（にんきの的だよ） □にぎやかに □にげずに □にんたい強く □にんむ</p>
ぬ	<p>【ぬ】 布 縦糸と横糸を組み合わせることで布ができます。違う物の組合せが必要なことを教えることだます。古代は布はとても重要な物で、一部は貨幣の価値も持っていました。</p> <p>□布（おりなすぬのが） □温もり（やさしきぬくもり） □縫う（ぬった衣は優しく美しく） □塗る（記録をぬりかえ） □水ぬるむ □枕をぬらした夜があるから</p> <p>□うぬぼれずひたむきに □死ぬきで □てぬきしないで</p>
ね	<p>【ね】 根 「根」「寝る」「音」を意味する。成長するための方法、手段を伝える働きを持つ。</p> <p>□根（ねを張り花咲かせ） □種（たねを育て・たねを播き） □羽根（はねを広げて） □願い（星にねがい・ねがいは叶う） □音色（美しきねいろ） □念願（ねんがんの）</p> <p>□ねんにはねんを □よわねを吐かず □むねを張って □経営りねんをかかげ □ていねいに淡々と □ねんには念を □生き抜いた今日がきねんびとなる □くねくねした道だって □つねに前向きに □誰かのまねじゃない</p>
の	<p>【の】 野、伸ばす 「野」は、あらゆる生物たちが、個々の営みを行いながらひとつの生態系を作る生命の場。「野」が植物が伸び、生物が成長するための力を与えるように、人の能力を伸ばしていく力を持つ。</p> <p>□伸びる（栄光へののびる道） □乗り越え（よりそいながらのりこえ・のりこえられる） □のぼる（高きところへのぼってゆく・のぼり調子） □野（のに咲く花となり） □のこす（名をのこし） □望む（のぞむ未来へと）</p> <p>□のがさず □あの日があったからこそ □おのずから □かのうせい □この先にある □背のびしない等身大の自分で □たのしく □不可のうなんてない □ほのむのような</p>

は	<p>【は】 羽 「春」の「晴れた」日の空に「羽ばたいて」いくように、未来に向かって広がっていく働きを持つ。晴れた日に見渡す限りの青空を仰ぐと希望あふれる気持ちになるのは、「は」のことだまの働き。</p> <p>□羽ばたく（大空はばたいてゆこう） □羽根（うつくしきはねひろげ・はねやすめ） □花（笑顔のはなが咲く・はな咲く道に） □春（〇歳のはるの日に誓った夢・はるのおひさまみたいに） □育む（はぐくんだ命が） □架け橋（栄光へのかけはし）</p> <p>□はれやか（はれやかな） □はっきりと □はしりぬく □はちくの勢い □ははなる大地 □はねのけ □ははばを合わせて □最高のみはらし □はにかむ笑顔 □むはいを誇る □あははと □こはる日和</p>
ひ	<p>【ひ】 日、一 「日」「太陽」を表す。温めることでもものが膨張するように人を温めて拡大させる働きを持つ。初日の出を拝んだり、ご来光を見に行く習慣や、国旗が日の丸であることなどから、古代より日本人は太陽を何よりも重視してきた。</p> <p>□光（ひかりが道照らし・ひかりが優しく包み） □ひなた（ひなたのような優しきころ） □拓く（未来の扉ひらいて・人生切りひらく） □広げ（翼ひろげ） □飛翔（大空ひしょうし） □ひだまり（ひだまりのように暖かく）</p> <p>□ひざし（春の日のひざしのように優しく） □ひきしめ □ひとりでも □ひたむきな □ひょうじょう □ひじょうに</p>
ふ	<p>【ふ】 ニ・増 やまとことばの数字の数え方（ひ、ふ、み）で「ふ」は「二」を意味する。トップである「一」の人を補佐したり、相手の方向性を定めて「一」の立場にする働きを持つ。また膨らませる、増やす働きもある。</p> <p>□吹く（順風ふいて・草原にふくそよ風のように安らぎ与え） □幸福（幸ふくの種・幸ふくの花・幸ふくに包まれて） □踏み出す（ふみだす一歩が・力いふみだそう） □深く（愛ふかく） □不可能（ふかのうなんてないんだよ） □船（ふねは順風満帆）</p> <p>□ふるさと（心のふるさと・ふるさとのように優しく） □ふきとばし □こころふれあう □ふるさと □ふさわしい □ふるまう □ふるいたたせ □あふれる想い □いふう堂々と</p>
へ	<p>【へ】 縁 意外性のある展開を表す。思ってもみないような発想や行動をし、意外な展開を与えることができる。</p> <p>□平和（へいわな世） □地平線（ちへいせんの果て・ちへいせんの向こう側） □～～へ（未来へと・あしたへ） □へいじょうしん □へこんだって □へとへとになるまで</p> <p>□へこたれず □常にへんかし、進化して</p>
ほ	<p>【ほ】 穂 たわわに実る稲穂を表す。自分が豊かな土地となり、そこから豊かな稲穂を実らせる。また、相手をほっとさせる安心感をもたらす働きもある。</p> <p>□星（幸運のほし・天に輝くほし・ほしかげ・ほしぞら） □本当（ほんとうの愛・ほんとうの勇氣） □本気（きみのほんき・ほんきの一歩） □本物（ほんものだね） □帆（ほを張り大海原へと・順風ほに受け） □ほおがゆるむ</p> <p>□きほんを大切に □てほんになれるよう □にほん人としての誇り □ほほえみ</p>

ま	<p>【ま】 真 「真」を意味し、「真・善・美」に強く関わる。人のことを認め、相手に必要な真理、真実を伝えることができる。</p> <p>□舞う（天をまい・天からまおりた） □真っ直ぐ（栄光へとまっすぐ続く道・想いまっすぐに） □まだ（まだ誰も見たことない〇〇へと） □負けない（自分にまげず流されず） □迷い（まよってもいい・まよったら一度止まれば正しき道が） □幕開け（新たな時代のまくあけに）</p> <p>□誠（まことの心） □まえむき □まさせる □まげす □まきかえす □まじめ □またたく □まなび</p>
み	<p>【み】 水 「水」を表す。古代の日本人は体の汚れを川、池、海で洗い流し、「水」を身を清める「禊（みそぎ）」に活用していたことから、体だけでなく心も洗い流して清める働きを持つ。</p> <p>□未来（みらいの扉・みらいに〇〇の花が咲く） □道（みちの先に〇〇の花が咲く・あゆむみち） □未知（みちなる旅が今始まった） □満ちあふれ（愛にみちあふれ・幸せみちあふれ） □導き（みちびき照らしてくれる） □見る（みたことない・みにゆこう）</p> <p>□みんな（みんなを思う優しきころ） □味方（時はいつでもみかただよ） □みあげる □みいだす □みちしるべ □みちたりる □みまもる □みりよう □みにあまる</p>
む	<p>【む】 蒸 「蒸す」「結ぶ」という意味があり、米を蒸してお酒ができたり、男女が結ばれたり子どもができるように、もともとあったものに新しい価値、付加価値をつける働きを持つ。</p> <p>□胸（むねに秘めた熱き想い・むねはって歩む道） □向こう（扉のむこうに・地平線の果てのむこうがわ） □むね（〇〇をむねとし） □無限（むげんの可能性を秘めている） □向き合う（自分とむきあい）</p>
め	<p>【め】 芽 「芽」「目」「女」の意味を持つ。 この3つは人が持っている本来の価値を発揮させるための方法を表している。</p> <p>□目（清らかに澄んだめで） □巡り合う（めぐりあえた奇跡） □愛でる（美しきものをめでる） □めくるめく</p>
も	<p>【も】 元 「元」「本」「母」の意味を持ち、土台、基礎、安定といった働きがある。 また、「真・善・美」の種を植えて花を咲かせる土台の働きがある。</p> <p>□もっと（もっと上へ次のステージへ） □気持ち（あたたかなきもち） □友（ともと歩むみち） □共（とも歩むみち） □想い（あつきおもい） □おもいやり（おもいやりに溢れ）</p>

<p>や</p>	<p>【や】 八 「八」を表す。「完成」という意味のある「七」の次の「八」は継続する働きがあります。宮（みや）、社（やしろ）など、神を表すことだます。</p> <p><input type="checkbox"/>優しい（やさしきころ・やさしき愛に満ち） <input type="checkbox"/>癒す（いやしてくれる） <input type="checkbox"/>宿す（瞳にひかりやどし） <input type="checkbox"/>安らぎ（静けさはやすらぎあたえ・やすらぐ場所） <input type="checkbox"/>やわらかな（やわらかな日差し） <input type="checkbox"/>やりぬく</p>
<p>ゆ</p>	<p>【ゆ】 湯、結い 「湯」という意味で、温泉を表す。古代から日本人は心身の傷を癒す手段のひとつに「湯」の働きを活用してきたことから、人を癒し、生命を回復させる働きを持つ。結いとは助け合って物事を成す働きです。</p> <p><input type="checkbox"/>夢（ゆめ叶うその日へと・ゆめは叶う） <input type="checkbox"/>あゆむ（あゆむ道の先・あゆんでゆこう） <input type="checkbox"/>雄大（ゆうだいな景色をその目で） <input type="checkbox"/>委ね（流れに身をゆだね） <input type="checkbox"/>勇氣（ゆうきを胸に・ゆうきある一歩が） <input type="checkbox"/>英雄（心あつきえいゆうとなって）</p> <p style="text-align: right;"><input type="checkbox"/>雄姿（ゆうし目に焼き付き伝説となり）</p>
<p>よ</p>	<p>【よ】 四、代 「四」を表す。「四」は「三」で完成したものに「一」を加えて安定させます。継続性、永遠性の働きを持つ。</p> <p><input type="checkbox"/>寄り添う（よりそい、支えあい・よりそい歩むみち） <input type="checkbox"/>世（よを照らし） <input type="checkbox"/>よろこび（よろこび広がり） <input type="checkbox"/>夜（つきよの静寂・新たな時代のよあけ） <input type="checkbox"/>よろこびに堪えない</p>

ら	<p>【ら】 ひらめき＋加速 「ら行」すべてにある「回転」「加速」の意味に加えて、「あ」の持つ「ひらめき」がプラスされる。世の中に新たな展開をもたらすアイデアをひらめき、変化にも素早く対応することができる。</p> <p>□空（そらたかく・そらに輝く） □うららか □えらんだ道をしっかりと □からだを大切に □らしく（自分らしく歩む道・自分らしさを忘れずに） □さなる高みへと □つらい時こそ □光がてらす道のさき □清らか（きよらかな瞳・きよかな想い） □常識にとられない生き方で □まくらをぬらした夜も □きらきら（命の光きらきらと輝き・きらきらと道を照らす） □ねらう □ひらりと □みらい □やらなければならない □ゆらゆら（ゆらゆら癒しを与え） □らんらん（らんらんと瞳輝かせ）</p>
り	<p>【り】 命＋加速 人にやる気を吹き込む「息」の力に「加速」が加わり、相手の前進する力に拍車をかける。</p> <p>□凜（りんとした志・りんとした瞳） □ありのまま（ありのままに想いのままに） □乗り越える（のりこえられるよ） □寄り添う（よりそいながら） □凌駕（りょうがし） □良心（りょうしんに正直に）</p>
る	<p>【る】 計画＋加速 あらゆるものを受け入れて新しいものを生み出す「う」の働きに、物事を素早く浄化する力が加わる。</p> <p>□瑠璃色（るりいろに輝く） □るるんと □心がるくなる □知る □～する □あるがまま（あるがままに想いのままに） □あるべき姿で □春（はるの日の陽だまりのような） □かえる場所 □ゆるぎない（ゆるぎない信念） □かわる勇気を □歩いて（自分らしい一歩であるいてゆこう） □あかるく楽しく、足取りかるく</p>
れ	<p>【れ】 枝＋加速 「ら行」の「加速」の力が「え」の成長、発展する力に加わり、すさまじいスピードで成長、発展していく働きを持つ。</p> <p>□歴史（れきしを塗り替え・れきしつくるんだ） □これだよっただから □ふれあい □やればできる！ □かれん（かれんな瞳） □くれなむむ日の光 □ゆるる想いを引き締めて □きれい（きれいな瞳・きれいなところ） □知れば知るほど □すればいい □れいせいな □新たな世界へと連れていく □それでも僕は □これから！ここから！ □うれしき出来事 □なれるはず □涙にぬれた瞳で見上げる空 □心はれやかに</p>
ろ	<p>【ろ】 実現＋加速 「お」が持つビジョンを形にし、目的を達成する力に「ら行」が持つ「加速」の力が加わって、「おっ」と感動するようなことが次から次へと実現していく。</p> <p>□色（いろあざやかな・いろどる） □ひろくて大きな心で □こころ □うつろ □いろいろあった人生 □きろくを残す □苦勞（くろう） □ころんでも □くろうしたからこそ □後ろを振り向かず □まろやか □よろこびあふれる □ころんでも立ち上がり □今に見ている □いろいろあった人生だから</p>

わ

【わ】 和
「和」「輪」「環」を表し、日本人の特徴ととらえられている。
「わ行」50音の最後の行なので、すべての物事は最後に統合、調和、平和に到ことを教えている。

- わかちあう（わかちあう心）
- わらい声（わらいごえが輪をつくり）
- 和（わとなり）
- 輪（感謝のわがひろがり）

ん

【ん】 完
50音最後の音で「完結」という意味を持つ。完成することで、一緒にいる人や所属する集団をさらにステップアップさせるという働きを持つ。

- 凜（りんとした志）
- 感謝（かんしゃ満ち溢れた未来へと）
- 感動的（かんだうてきな未来の幕が開いた）
- 運命（うんめい切り拓き）
- ご縁（ごえんは繋がり絆深まり）